

若者を

戦場へ送らない!

日本共産党
札幌市議団

議会報告

「憲法守れ! 僕らの未来を守れ!」「戦争する総理はいらない!」——いま、安倍自公政権による安保関連法案=戦争法案に反対する世論と運動が、世代を超えて広がっています。

この“戦後最悪の悪法”をストップさせるために力を合わせましょう。

今年の第2回定例会(6月24日~7月17日)で、村上ひとし議員が代表質問にたち、秋元克広市長の政治姿勢をたどしました。



(左から) 村上、小形、坂本、伊藤、池田、太田、田中、平岡の各議員

戦争法案

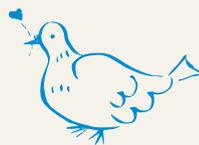
市民の代表として態度を明らかにせよ ——法案への賛否、明言せず

「憲法違反の戦争法案に、市民の代表として賛成か、反対か、明らかにすべき」とただすと、秋元市長は「多くの国民の納得が得られているとはいえない」「慎重かつ十分に審議を」とのべるだけで、明言をさげました。

泊再稼働

反対の立場を明確にせよ ——“市民の理解が重要”というだけ

また、「泊原発の再稼働に反対する立場を明確にすべき」と求めたのに対し、市長は「安全対策などについて…道民、市民の理解が得られることが重要」とのべるだけでした。



戦争法案ストップ



札幌市議会議員

太田 秀子

平和・くらしの願い

秋元新市長に—— 補正予算への要望

共産党市議団は6月2日、秋元市長に2015年度補正予算に対する要望書を提出。『平和都市宣言』をもつ本市の代表として、戦争法案に対して毅然とした態度表明を」と求め、「認可保育所の整備」などの実現を訴えました。



秋元市長に「要望書」を手渡す坂本団長

札幌市平和都市宣言 (一部抜粋)

「私たち札幌市民は、日本国憲法がかかげる平和の理念に基づき、非核三原則を守ることを誓い、信義と公正を重んずる全世界の市民と相携えて世界平和の実現を望み…核兵器廃絶平和都市であることを宣言します。」



2015年9・10月号

発行/日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL011-211-3221 FAX011-218-5124
HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>
日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。